

# 令和2年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験 指導案問題

令和2年7月12日

次の【課題1】、【課題2】のうち、どちらか一つを選び、条件1～3のすべてに応える指導案を作成しなさい。

## 【課題1】

- 条件1** 児童生徒の個性を生かした、協働的学習を取り入れた教科の単元構成であること。  
**条件2** 単元構成3時間以上、内1時間を本時とすること。  
**条件3** ①単元名、②単元設定の理由、③児童生徒の実態（授業クラスを想定）、④単元の目標、⑤単元の構成（指導計画）、⑥本時の展開（略案可）、⑦評価、の7項目を記載すること。とりわけ、⑤については詳しく記述すること。

## 【課題2】

- 条件1** 「環境」をテーマとして、日常生活や社会との関わりを重視した総合的な学習の時間の単元構成であること（高等学校においては、総合的な探究の時間の単元構成であること）。  
**条件2** 単元構成3時間以上、内1時間を本時とすること。  
**条件3** ①単元名、②単元設定の理由、③児童生徒の実態（授業クラスを想定）、④単元の目標、⑤単元の構成（指導計画）、⑥本時の展開（略案可）、⑦評価、の7項目を記載すること。とりわけ、⑤については詳しく記述すること。

<解答にあたっての留意点>

- ・指導案で扱う校種は、受験区分に合わせて、次のとおりとし、校種の欄に記入してください。
  - ・小学校区分においては小学校
  - ・中学校・高等学校区分においては中学校又は高等学校
  - ・特別支援学校区分においては特別支援学校の小学部又は中学部
  - ・養護教諭区分においては小学校、中学校、特別支援学校の小学部又は中学部
  - ・高等学校（商業）区分においては高等学校
- ・教科・領域の欄については、課題1を選択した場合は、「課題1（作成する指導案の教科）」、課題2を選択した場合は、「課題2（総合）」とそれぞれ記入してください。
- ・学年、人数の欄については、指導案で扱う学級を想定し、それぞれ記入してください。
- ・児童生徒の学年、児童生徒数等は、自由に設定してください。
- ・「単元」については、各教科・領域等を関連させ、横断的・総合的な単元としてもよいこととします。
- ・授業時間（本時）は、小学校段階45分間、中学校段階50分間、高等学校段階50分間と仮定します。
- ・表や項目は自由に記載してください。その際、定規の使用を許可します。
- ・指導案は表面の枠内に収めてください。枠外や裏面への記載はできません。
- ・問題の内容に関する質問は一切受け付けません。